

鉄鋼環境 基金ニュース

2023年 8月7日

第75号

主な掲載内容

- I. 第14回（2023年度）助成研究成果発表 受賞者の決定
 II. 第44回（2023年度）助成研究テーマの応募状況（速報）

I. 第14回（2023年度）助成研究成果表彰の受賞者

助成研究成果表彰は、優れた成果をあげた助成研究者に与えられるもので、本年度は17名の応募があり、技術委員会による厳正な審査により各賞の候補者を選考し、6月2日開催の第55回通常理事会において、3名の方の受賞が決定いたしました。

表彰式・受賞記念講演会は、9月26日（火）15時から鉄鋼会館 第1会議室で開催します。

1. 理事長賞

賞の性格	環境技術及び学術の進歩を通して鉄鋼業や社会に対し、卓越した功績が認められる助成研究成果をあげた助成研究者に贈られる。		
氏名	胡桃澤 清文	所属	北海道大学大学院工学研究院・准教授
助成研究期間	3年間：2019年11月～2022年10月		
研究テーマ	高炉スラグ固化体作製のための高炉スラグの反応促進技術の開発		
研究成果	氏は、高炉スラグ微粉末の初期反応性を高め、セメントを全く使用しないコンクリート代替固化体の製造を目指す研究を行い、無機塩種の混和剤の有効性を明らかにした。この研究成果は、高炉スラグの利用拡大に寄与する社会的意義の大きい研究成果である。		

2. 技術委員長賞

賞の性格	環境技術及び学術の進歩に、卓越した功績が認められる助成研究成果をあげた若手助成研究者に贈られる。		
氏名	玄 大雄	所属	東北大学多元物質科学研究所・助教
助成研究期間	2年間：2020年11月～2022年10月		
研究テーマ	単一粒子分光分析による大気中の不均一光化学反応過程の動態解明		
研究成果	氏は、大気中のガスとエアロゾル粒子表面における定量的な理解が進んでいない不均一光化学反応過程について、先進的な手法を用いて基礎研究成果を得ている。この研究成果は、今後の大気化学モデルの精度向上に貢献する発展性の高い重要な研究成果である。		

3. 鉄鋼技術賞

賞の性格	鉄鋼環境技術の進歩を通して鉄鋼業に対し、卓越した功績が認められる助成研究成果をあげた助成研究者に贈られる。		
氏名	今中 信人	所属	大阪大学大学院工学研究科・教授
助成研究期間	3年間：2019年11月～2022年10月		
研究テーマ	鉄鋼排水中の有害有機物質を高効率で浄化可能な新規環境触媒		
研究成果	氏は、コークス炉排水中のフェノールを、常圧、100℃以下の温和な条件で分解することができる新たな触媒を開発した。この研究成果は、将来の実用的な廃水処理に結びつく可能性のある、学術的にも意義の大きい研究成果である。		

以上

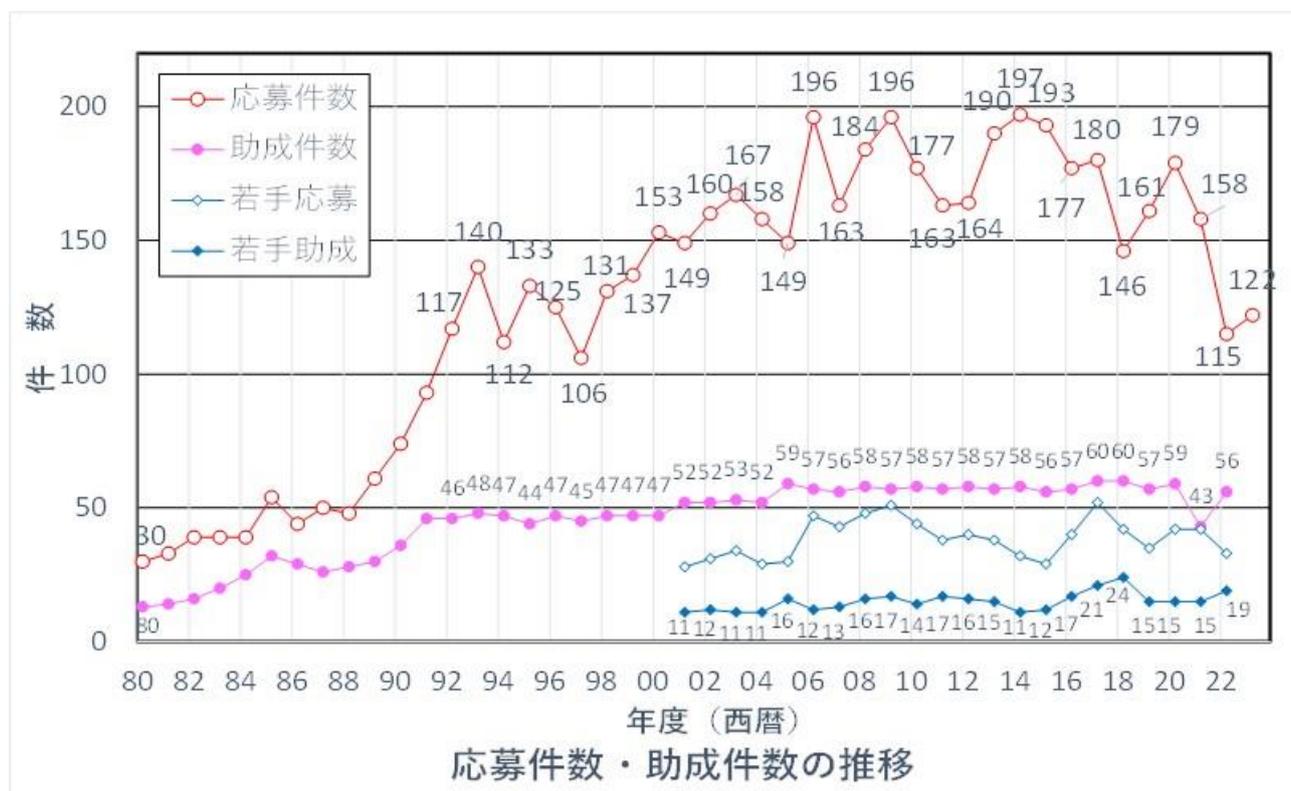
Ⅱ. 第44回（2023年度） 助成研究テーマの応募状況

2023年度の研究助成事業の公募は、4月1日から5月31日までの募集期間で行った。
今年度の応募結果（速報）は以下の通りである。

【応募状況全般】（カッコ内は過去5年の数字）

- ① 応募総数は122件(18年:146件, 19年:161件, 20年:179件, 21年:158件, 22年:115件)であり、昨年度より7件、6%増加した。うち新規テーマは88件(22年:96件)、継続34件(22年:19件)の応募があった。
- ② 大学からの応募は110件(18年:116件, 19年:130件, 20年:141件, 21年:128件, 22年:103件), 7件増加。
- ③ 高専からの応募は4件(18年:12件, 19年:12件, 20年:13件, 21年:8件, 22年:7件)で3年連続減少。
- ④ 研究所・団体等からの応募は8件(18年:18件, 19年:19件, 20年:25件, 21年:22件, 22年:5件)。
昨年より3件増加したが2年前までと比べると半減以下。
- ⑤ 若手研究の応募は29件で全体の24%。件数は2年連続の減少。比率はバラツキの範囲内。
(18年:42件・28%, 19年:35件・22%, 20年:42件・23%, 21年:42件・27%, 22年:33件・29%)
- ⑥ 初めての応募者は30人で全体の25%。人数、比率とも昨年より増加したがバラツキの範囲内。
(18年:41人・28%, 19年:31人・19%, 20年:41人・23%, 21年:42人・27%, 22年:27人・23%)

【応募件数・助成件数の推移】



【分野別応募件数】

- ①地球環境分野は、近年増加傾向の中で昨年の58件から62件とさらに増加した。
- ②資源循環分野は、昨年応募数が大きく減少したが、今年は20件から28件へ増加した。(従来レベル弱)
- ③大気分野は、昨年大きく減少したが、今年は更に17件から15件へ減少した。
- ④土壌水質分野は、昨年大きく減少したが、今年は更に20件から17件へ減少した。

分類・課題	2019年度応募件数			2020年度応募件数			2021年度応募件数			2022年度応募件数			2023年度応募件数		
	一般	若手	合計												
(1)地球環境	22	9	31	28	16	44	27	12	39	39	19	58	47	15	62
①抜本的なCO2排出削減	9	3	12	6	2	8	8	2	10	5	3	8	6	2	8
②カーボンニュートラル基盤技術	7	2	9	16	7	23	15	7	22	23	8	31	30	6	36
③未利用エネルギー有効活用	4	4	8	5	6	11	2	1	3	3	3	6	5	3	8
④地球温暖化に対する適応	2	0	2	1	1	2	2	1	3	7	4	11	5	3	8
⑤環境汚染物質の発生抑制技術	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	2	1	1	2
(2)資源循環(副産物)	27	6	33	34	2	36	33	9	42	15	4	19	22	6	28
①スラッグの利用・高付加価値化	25	6	31	31	2	33	32	9	41	14	4	18	17	5	22
②プラスチックリサイクルなど循環型社会形成に資する技術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3
③副産物の減量・減容化、再利用	2	0	2	3	0	3	1	0	1	1	0	1	2	0	2
④水銀汚染廃棄物の効率的処理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤他産業の副産物及び廃棄物の鉄鋼業への有効利用技術	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
(3)大気	29	5	34	26	8	34	24	7	31	12	5	17	11	4	15
①PM2.5・光化学オキシダント対策、測定技術	19	5	24	23	7	30	19	7	26	8	4	12	9	4	13
②省エネ、低コスト、高効率化	6	0	6	2	0	2	3	0	3	2	1	3	1	0	1
③水銀等重金属の低減	4	0	4	1	1	2	2	0	2	2	0	2	1	0	1
(4)土壌水質	48	15	63	43	14	57	32	13	45	15	5	20	13	4	17
①水処理高効率化、重金属等の除去・回収	26	11	37	25	11	36	14	8	22	8	2	10	7	1	8
②土壌・地下水汚染の浄化・測定技術	14	2	16	11	3	14	6	3	9	5	1	6	3	0	3
③閉鎖性海域の環境対策	8	2	10	7	0	7	12	2	14	2	2	4	3	3	6
(6)その他	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0
合計	126	35	161	131	40	171	116	42	158	82	33	115	93	29	122
下線: 特に関心のある技術課題															

事務局だより

役員の変更

【理事の変更】

辞任 (令和5年5月8日付)

大河内 巖 JFEスチール株式会社専務執行役員

補欠就任 (令和5年5月8日付)

朝比奈 健 JFEスチール株式会社常務執行役員

【評議員の変更】

辞任 (令和5年5月8日付)

田村 一之 (前)普通鋼電炉工業会事務局長

補欠就任 (令和5年5月8日付)

内藤 敏幸 普通鋼電炉工業会事務局長

【代表理事の選任】

就任 (令和5年5月15日付)

理事長 朝比奈 健 JFEスチール株式会社常務執行役員

【理事の変更】

辞任 (令和5年6月22日付)

岡田 光正 環境省環境研究総合推進費プログラムディレクター、広島大学および放送大学名誉教授

補欠就任 (令和5年5月8日付)

畠山 史郎 アジア大気汚染研究センター所長、東京農工大学名誉教授

【評議員の選任】

退任（令和5年6月22日付）

船越 弘文 日本製鉄株式会社副社長執行役員
坂本 和彦 埼玉大学名誉教授

就任（令和5年6月22日付）

鈴木 英夫 日本製鉄株式会社常任顧問
岡田 光正 環境省環境研究総合推進費プログラムディレクター、広島大学および放送大学名誉教授

再任（令和5年6月22日付）

小田 直樹 電気事業連合会立地電源環境部長
石井 伸治 一般社団法人日本産業機械工業会常務理事
吉村 宇一郎 石油連盟常務理事
仮屋 和広 JFEスチール株式会社スラグ事業推進センタースラグ企画部長（理事）
泥 俊和 株式会社神戸製鋼所安全・環境部長
羽田 進 大同特殊鋼株式会社環境部長
内藤 敏幸 普通鋼電炉工業会事務局長

【監事の選任】

再任（令和5年6月22日付）

高村 守 公認会計士
柏原 史隆 鐵鋼スラグ協会総務部長

【評議員会議長および議長代理の選任】

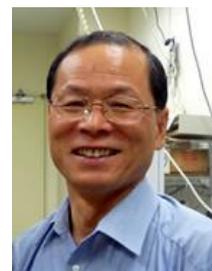
就任（令和5年7月7日付）

評議員会議長 鈴木 英夫 日本製鉄株式会社常任顧問
評議員会議長代理 仮屋 和広 JFEスチール株式会社スラグ事業推進センター
スラグ企画部長（理事）

6月22日付で、技術委員、理事、評議員を14年間にわたり歴任されました。坂本和彦様が評議員の定年規定により、ご退任されました。これまでの基金に対するご功労に感謝申し上げます。

基金での委員・役員歴

- ・技術委員 : 2009年6月～2017年3月（7年10ヵ月）
- ・技術委員長 : 2013年4月～2017年3月（4年、上記の内数）
- ・理事 : 2014年6月～2019年6月
（5年、うち3年間技術委員と兼務）
- ・評議員 : 2019年6月～2023年6月（4年）



鉄鋼環境基金ニュース第75号

2023年8月7日発行

発行所: (公財)鉄鋼環境基金

発行人: 専務理事・事務局長 亀谷岳文

E-mail: sept.senmu@sept.or.jp

URL: <http://sept.or.jp/>

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-2-10 鉄鋼会館6階

Tel: 03-5652-5144、 Fax: 03-5641-2444